

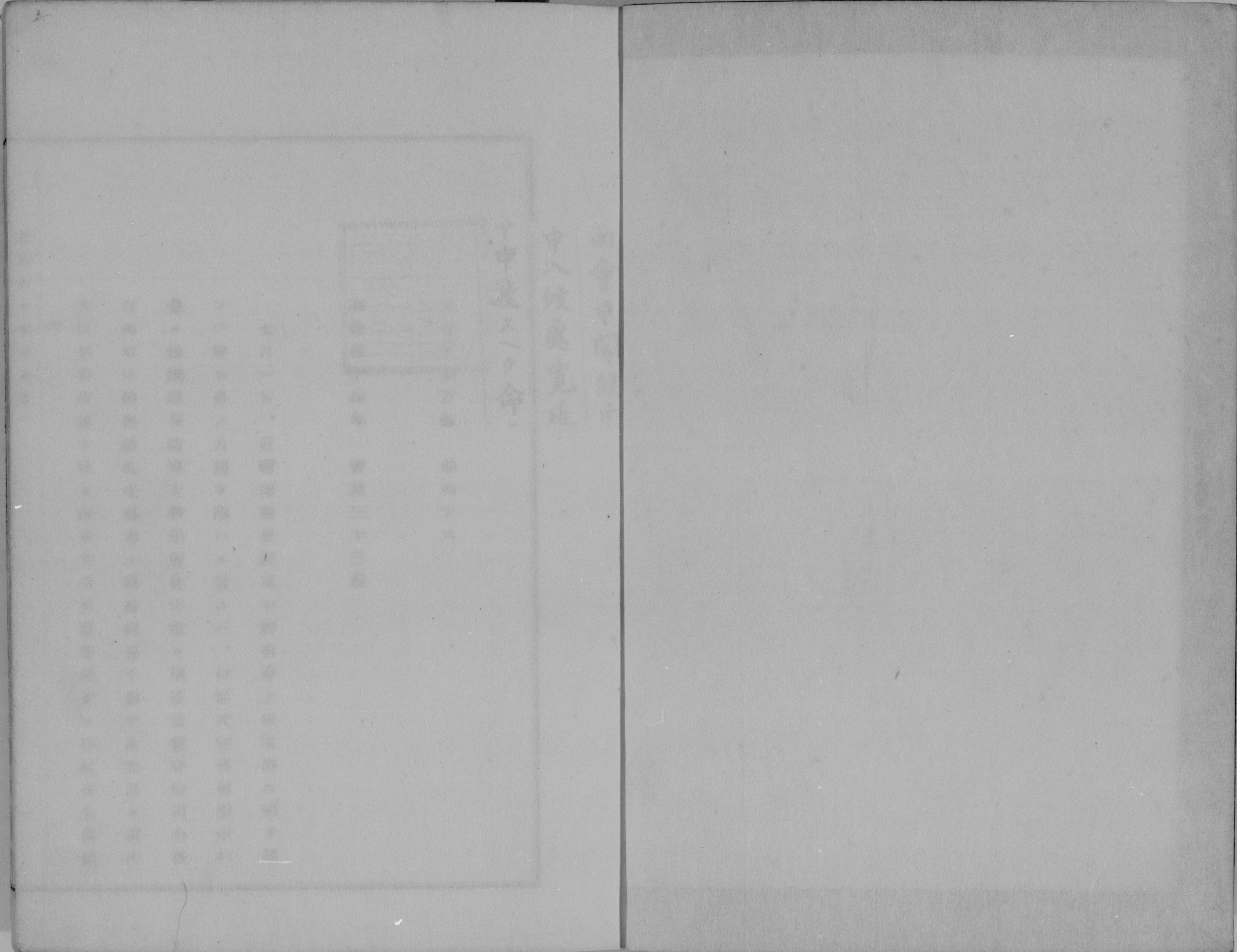
3204 107

大正天皇實錄

卷四十六

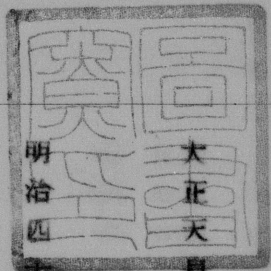
圖書寮	
冊號	64047
冊數	97
函號	秘 4





中華書局
中入校定定定

Faint vertical text columns on the left page, likely bleed-through from the reverse side.



大正天皇 實錄 卷四十六

明治四十四年 實算三十三歲

七月一日、近衛師團長陸軍中將男爵上田有澤ニ謁ヲ賜フ。猶示是ノ月謁ヲ賜ヘル者ニハ、侍從武官長男爵中村覺・參謀總長陸軍大將伯爵奧保鞏・橫須賀鎮守府司令長官海軍中將男爵瓜生外吉・關東都督子爵大島義昌・宮内大臣伯爵渡邊千秋・海軍大臣男爵齋藤實・侍從長公爵德

明治四十四年七月

紀御假床ヲ
撤セララル

葉山ニ行啓
妃ニ御對面

大寺實則・元帥公爵大山巖等アリ。侍從日記・庶務課日記。

是ノ日、妃御假床ヲ撤セララル。仍リテ東宮侍從田内三吉ヲ葉山御用邸ニ遣シ、祝賀セシメラル。因ニ去ル三月末腸窒扶斯御發病以後、御經過頗ル艱調ニ涉リ給ヒ、四月末略々快癒アラセラレシガ、更ニ勝號加答兒ニ右側腎孟炎ヲ御併發アリ、五月中旬ニ至リ御快方ニ嚮ヒ、客月中旬來漸ク御異狀ヲ拜セズ、御食欲増進シ御營養亦佳良ニ涉ラセラレ、御體量モ御異例前ニ復シ給ヘリ。侍從日記・庶務課日記。

三日、午前七時三十五分御出門、新橋停車場ニテ汽車

ニ御搭乗、九時五十五分葉山御用邸ニ行啓アリ。病既ニ癒エ給ヘル妃ト御對面、尋イデ午餐ヲ御會食アリ、東宮侍從長公爵一條實輝等供奉諸員ニ陪食ヲ賜フ。午後三時三十五分御用邸御出門、五時五十五分假東宮御所ニ還啓アラセララル。因ニ妃ハ十三日假東宮御所ニ還啓アリタリ。侍從日記・庶務課日記・行啓録・官報

十日、王世子李垠ニ御對面アリ、尋イデ午餐ヲ御會食、男爵趙東潤・李王世子附事務官高義敬等ニ陪食ヲ賜フ。是ノ月猶ホ十一日貞愛親王ニ、十二日載仁親王・鳩彦王ニ、十四日載仁親王妃智惠子・恒久王ニ、十五日成久王ニ、

表慶館等ニ
行啓

王世子李垠
ノ母ノ姐ヲ
悼ミ給フ

聰子内親王ニ、十八日成久王妃房子内親王ニ、二十日恒
久王妃昌子内親王ニ、二十二日恒久王・同妃昌子内親王・
成久王妃房子内親王ニ、二十三日守正王・成久王ニ、二
十四日貞愛親王ニ、二十八日鳩彦王ニ夫、御對面ノコト
アリ。典式録・侍從日
記・庶務課日記

十七日、午後二時三十分御出門、上野公園内表慶館並
ビニ動物園ニ行啓、五時三十分還啓アラセラル。侍從日
記・庶務

務課日記
行啓録

二十日、昨十九日王世子李垠ノ母慶善宮嚴氏殞ス。未
ダ喪ヲ發セザルニヨリ、是ノ日東宮侍從田内三吉ヲ垠ノ

農事試験場
ニ行啓

邸ニ遣シテ慰問セシメラル。翌二十一日喪ヲ發シ、垠其
ノ葬ニ會センガ爲メ朝鮮ニ還ルヲ以テ、東宮主事子爵錦
小路在明ヲ新橋停車場ニ遣シテ送ラシメラル。後、二十
八日祭桑料金千圓ヲ賜フ。庶務課日記・
農務録・官報

二十四日、午後一時三十分御出門、東京帝國大學理科
大學附屬植物園ニ行啓、園内御巡覽、四時十五分還啓ア
ラセラル。侍從日記・庶務
課日記・行啓録

二十七日、午前七時三十分御出門、北豊島郡瀧野川村
大字西ヶ原ナル農事試験場ニ行啓、農商務次官押川則吉・
農事試験場長技師古在由直以下技師等ニ謁ヲ賜ヒ、場内

御巡覽、十一時十五分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓録
 八月一日、成久王ニ御對面、尋イデ午餐ヲ會食アラセラル。又元帥公爵山縣有朋等ニ謁ヲ賜フ。是ノ月猶ホ假東宮御所ニ於テ、三日邦彦王・同妃倪子・多嘉王ニ、九日鳩彦王ニ、十日邦彦王・鳩彦王・多嘉王ニ、十六日恒久王ニ御對面ノコトアリ。又謁ヲ賜ヘル者ニハ、第一艦隊司令長官海軍大將男爵上村彦之丞・參謀總長陸軍大將伯爵奧保鞏・北海道廳長官石原健三・近衛師團長陸軍中將男爵上田有澤・內閣總理大臣公爵桂太郎・海軍大臣男爵齋藤實・朝鮮總督伯爵寺內正毅・侍從長公爵德大寺實

圖書寮

久邇宮邸ニ行啓

則等アリ。侍從日記・庶務課日記・
 二日、午前八時御出門、豐多摩郡澁谷町ナル農商務省月寒種畜牧場澁谷分場ニ行啓、家藏・豚・山羊等ヲ御巡覽、十時二十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓録
 五日、午後三時御出門、久邇宮邸ニ行啓、邦彦王ニ御對面、五時還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓録
 六日、午後一時三十分御出門、東京砲兵工廠内後樂園ニ行啓、東京砲兵工廠提理陸軍少將兵頭雅馨ノ御先導ニテ庭内御消遣アリ、四時十五分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記

日光ニ御遊

十一日、日光ニ御遊覽アラセラル。仍リテ昨日十日參内、
 天皇・皇后ニ謁見ヲ奏啓アリ。是ノ日午前六時五十分御
 出門、上野停車場ニテ成久王御使成久王附武官陸軍砲兵
 中佐朝川瀨平・海軍軍令部長海軍大將男爵伊集院五郎・
 近衛師團長陸軍中將男爵上田有澤等奉送禮ニ汽車ニ御搭
 乗、十一時三十分日光停車場ニ御著、成久王及ビ恒久王
 ノ奉迎ヲ受ケ、同五十五分日光田母澤御用邸ニ入ラセラ
 ル。是ヨリ三日間御滞留アリ、十二日ニハ偶々日光滞在
 中ナル恒久王・同妃昌子内親王・成久王・同妃房子内親
 王ニ御對面アリ、十三日ニハ成久王ヲ其ノ旅館輪王寺ニ、

圖書寮

東京ニ還啓

北海道地方ニ行啓

十四日ニハ恒久王ヲ同寺ニ訪ハセラル。謁ヲ賜ヘル者ニ
 ハ新任栃木縣知事岡田文次等アリ。猶ホ供奉ヲ命セラレ
 タル者ハ、東宮侍從長公爵一條實輝・東宮侍從本多正復・
 同高辻宜麿・同甘露寺受長・東宮武官山岡豐一・侍醫池
 邊棟三郎等ナリ。十四日午後一時二十分御用邸御出門、
 日光停車場ニテ成久王ヲ隨ヘテ汽車ニ御搭乘、六時五分
 假東宮御所ニ還啓アラセラル。因ニ妃ハ去月二十二日以
 來日光田母澤御用邸ニ御淹留、九月十二日ニ至リ還啓ア
 リタリ。
侍從日記・庶務課日記・行啓録・侍從職日記・皇后宮職日記・官報

十八日、地理・風俗・人情御視察ノ爲メ北海道地方ニ

供奉員

仙臺市ニ御泊

行啓アラセラル。御出發ニ先立ち、昨十七日參内、天皇ニ請暇ヲ奏啓アリ。是ノ日午前六時四十分御出門、上野停車場ヨリ汽車ニ御搭乘アリ。供奉ヲ命セラレタル者ハ、東宮大夫男爵波多野敬直・東宮武官長男爵村木雅美・東宮侍從長公爵一條實輝・東宮主事馬場三郎・東宮侍從田内三吉・同原恒太郎・同高辻宜廣・同甘露寺受長・東宮武官大内義一・同子爵田村丕顯・侍醫片山芳林・同土屋岩保・内藏寮主事林恭次郎等ナリ。午後四時四十分仙臺停車場ニ御著、同五十五分仙臺市御旅館仙臺偕行社ニ入ラセラレ、宮城縣知事寺田祐之・宮城控訴院長判事清水

圖書寮

青森港ニテ軍艦香取ニ御搭乘

一郎・同檢事長檢事與宮正治等ニ謁ヲ賜フ。翌十九日午前七時十五分御出門、仙臺停車場ニテ汽車ニ御搭乘、午後五時四十分侍從武官長男爵中村覺ノ奉迎ヲ受ケ青森停車場ニ著カセラレ、直ニ新棧橋ヨリ汽艇ヲ以テ軍艦香取ニ御搭乘アリ、青森縣知事武田千代三郎及ビ北海道廳長官石原健三等ニ謁ヲ賜フ。十一時青森港ヲ御解纜アリ、平館海峡ヲ過クルヤ針路ヲ轉ジ、福山沖ニ嚮ハセラル。二十日午前五時三十分福山港辨天燈臺沖ニ進ミ、更ニ海岸近ク回航シ、福山町民ノ花火ヲ揚ゲテ奉迎スルヲ受ケ給フ。九時三十分函館港ニ著カセラル。時ニ碇泊セル軍

函館港ニ御
上陸

應立函館商
船學校等ニ
行啓

艦音羽並ビニ亞米利加合衆國亞細亞艦隊旗艦さらとか。
 〆一おるれあんすノ二艦皇禮砲ヲ發ス。參艦セル第七
 師團長陸軍中將男爵上原勇作等ニ謁ヲ賜ヒタル後、棧橋
 ヨリ御上陸、十一時十五分函館區御旅館函館公會堂ニ入
 ラセラレ、北海道廳技師岡崎文吉以下有位帶動者・衆議
 院議員・英吉利國代理副領事・露西亞國副領事等ニ至ル
 マデ謁ヲ賜フ。爾後、御三泊アリ。是ノ日午後二時御出
 門、北海道應立函館商船學校ニ行啓、校長堀内權三郎等
 ニ謁ヲ賜ヒ、陳列品及ビ航海科第三學年生ノ天文航海術・
 機關科第二學年生ノ實驗機關術ノ授業ヲ御覽アリ、擔當

圖書寮

函館控訴院
ニ臨ミ給フ

教師ノ黑板面ニ揭示セル公式及ビ原語或ハ生徒學業ノ進
 否・健康ノ程度・操行ノ現狀等ニ就キテ御下問アラセラ
 レ、其ノ奉答ヲ聽カセ給フ。本行啓中、爾後、屢々同様
 ノ御下問アリ。尋イテ應立函館高等女學校ニ行啓、校長
 鈴木源二郎等ニ謁ヲ賜ヒ、本科第二學年生ノ日本歴史並
 ビニ補習科生ノ作法授業ヲ御覽ノ後、應立函館商業學校
 ニ臨ミ、校長神山和雄等ニ謁ヲ賜ヒ、本科第三學年生及
 ビ豫科第二學年甲組生ノ珠算授業並ビニ生徒成績品及ビ
 參考用統計圖表・函館區内各小學校生徒ノ成績品各陳列
 室ヲ巡覽アラセラル。四時十五分函館控訴院ニ行啓、院

函館要塞砲臺ニ御登臨

長判事一瀬勇三郎・檢事長檢事池上三郎等ニ謁ヲ賜ヒ、一瀬院長ヨリ管内ノ狀況ヲ御聽取、又公判廷ヲ御一覽アリ、五時御旅館ニ還啓アラセラル。二十一日八午前八時御出門、函館公園ニ行啓、区内各小學校生徒ノ運動會ヲ覽給ヘル後、水産陳列場ニ臨ミ、御一巡アリ。尋イテ函館要塞砲臺ニ御登臨、要塞司令官陸軍砲兵大佐村松篤ヨリ要塞ノ沿革及ビ現狀ヲ聽カセラレ、十一時二十五分一日御旅館ニ還啓アリ。亞米利加合衆國亞細亞艦隊司令官官海軍少將むるとつく及ビさらとか・にゆゝおるれあんすノ兩艦長ヲ引見アラセラル。午後一時十分再ビ御出門、

大沼公園御遊覽

函館停車場ヨリ汽車ニ御搭乗、桔梗停車場ニテ御下車、龜田郡桔梗村ナル園田實徳ノ經營セル園田牧場ニ行啓、飼養ノ馬匹ヲ御覽アリ、三時十分桔梗停車場御發車、大沼公園假停車場ニテ御下車、徒歩ニテ二重沼ノ岸ヨリ湖水ノ景勝ヲ賞シ給ヒツツ、せばつとニ設ケタル御野立所ニ到リ、御休憩アリ、茅部郡落部村舊土人部落ノ元酋長辨開風次郎父子等丸木船ニ乘リ木幣ヲ捧持シ來リ、御野立所前面ノ渚ニ舟ヲ繋ギ、あいぬノ古式ニ則リ敬禮ヲ行ヒ、且ツあいぬ語ヲ用ヒテ祝詞ヲ奉ルノ狀ヲ御覽アラセラル。四時四十分假停車場ヨリ御乗車、六時御旅館ニ還

函館重砲兵
大隊ニ行啓

啓アラセラル。二十二日八午前八時御出門、函館重砲兵
大隊ニ行啓、大隊長陸軍砲兵少佐永島武夫以下將校及ヒ
相當官ニ謁ヲ賜ヒ、永島大隊長ヨリ大隊ノ沿革ニ就キテ
説明ヲ聽カセラレ、加農砲・榴彈砲・臼砲等操砲教練ヲ
御覽アリ。十時三十分五稜廓ニ臨ミ、追手門ノ右側壘上
ノ御野立所ニ於テ御展望、且ツ函館要塞司令部副官陸軍
砲兵大尉鈴木憲造ヨリ築廓ノ起源及ヒ構造・工費等ニ關
シ説明ヲ聽キ給フ。

五稜廓

憂國丹心萬世名 奮嬰孤壘禦精兵 吾來巡覽太平後

御使差遣

晴日煌々天地清

ノ聖作ハ此ノ時ノモノト拜察セラル。尋イテ應立函館中
學校ニ行啓、校長山田文太郎等ニ謁ヲ賜ヒ、第五學年生
ノ英語・第四學年生ノ西洋史・第三學年生ノ修身各授業、
生徒ノ徒手及ヒ哑鈴體操ヲ御覽アリ、第二回函館外十郡
畜産共進會ノ優良牛馬ヲ校庭ニ於テ覽給フ。午後一時三
十分同校ヲ出テ龜田郡湯ノ川村ナル函館競馬俱樂部競馬
場ニ到リ、競馬ヲ御覽、五時十分御旅館ニ遷啓アラセラ
ル。猶ホ函館區御滞留中二十一日ニハ田内東宮侍從ヲ國
幣中社函館八幡宮・官祭函館招魂社及ヒ函館船渠株式會

函館區御發

社ニ、甘露寺東宮侍從ヲ北海道せめんと株式會社ニ、二十
 十二日ニハ田内東宮侍從ヲ明治十四年車駕巡幸ノ際御休
 憩所タリシ七飯村字専茶沼宮崎重兵衛ノ家ニ遣サレタリ。
 北海道行啓御日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録・官
 報・鶴駕奉迎誌（北海道廳）、鶴駕奉迎錄（函館區役所）
 東宮殿下奉迎關係書（同上）、東宮殿下
 行啓記念函館奉迎記（函館毎日新聞社）
 二十三日、午前七時二十分函館區公會堂御出門、函館
 停車場ヨリ汽車ニ御搭乗アリ、途次、森停車場ニ於テ明
 治十四年車駕室蘭行幸ノ際御休憩所タリシ阿部重吉ノ家
 ニ東宮侍從田内三吉ヲ遣シ給ヒ、又八雲停車場ニテ舊名
 古屋藩主徳川慶勝ノ刻苦經營セル八雲農村ノ狀況ヲ男爵

著 小樽區ニ御

徳川義恕ヨリ聽カセツレ、同村所産ノ駿馬ヲ御一覽アリ。
 落部停車場ニテハあいなぬ人等數名太刀ヲ拔キ空ヲ斬リ降
 魔ノ祓ヲ修シ、行啓ノ平安ヲ祈リ奉ル。更ニ去ル十六日
 ノ洪水ニ墜落セル余市川鐵橋ノ假橋御通過ニ際シテハ、
 車窓ヨリ慘害ノ跡ヲ觀望アラセラレ、北海道鐵道管理局
 長野村彌三郎ニ當時ノ事情ヲ御下問アリ。午後六時中央
 小樽停車場ニ著カセラル。時ニ小樽港碇泊中ノ佛蘭西國
 軍艦二隻皇禮砲ヲ發シテ奉迎ス。同十五分御旅館小樽公
 會堂ニ入ラセラル。是ヨリ御二泊アリ。二十四日ハ檢事
 川崎敬治以下有位帶勳者・衆議院議員等ニ謁ヲ賜ヘル後、

小樽公園ニ
臨マセラル

午前八時御出門、小樽公園ニ行啓、第一御野立所ニ於テ
区内各小學校兒童ノ體操遊戯ヲ、第二御野立所ニ於テ附
近ヲ御展望、北海道廳長官石原健三及ビ小樽區長龍岡信
熊ヨリ小樽區發展ノ趨勢・戶數・防波堤・高架棧橋等ニ
關スル説明ヲ聽カセラル。尋イテ廳立小樽高等女學校ニ
臨ミ、校長小松到等ニ謁ヲ賜ヒ、第四學年生ノ地理・第
三學年生ノ家事・第二學年生ノ音樂各授業及ビ成績品ヲ
御覽アリ。次ニ廳立小樽中學校ニテ校長清水實隆等ニ謁
ヲ賜ヒ、第五學年生ノ幾何・第四學年生ノ動物・第三學
年生ノ歴史各授業・生徒ノ成績品並ビニ海陸產物・鯨漁

小樽高等商
業學校ニ行
啓

築港工事御
覽

小樽區御發

獲ノ模型等ヲ御覽アラセラル。夫ヨリ小樽高等商業學校
ニ行啓、校長渡邊龍聖以下職員ニ謁ヲ賜ヒ、商品陳列室
ヲ御覽、午後零時五分御旅館ニ遷啓アリ。佛蘭西國東洋
分遣艦隊司令官海軍少將ら・くろあ・ど・かすとりー以
下幕僚將校十名ニ謁ヲ賜フ。三時再ビ御出門、波止場棧
橋ニテ御乘艇、防波堤築設作業狀況等ヲ御覽アリ、再ビ
棧橋ヨリ御上陸、四時四十分遷啓アラセラル。是ノ日田
内東宮侍從ヲ余市林檎園・岩内漁港ニ、東宮侍從甘露寺
受長ヲ北海道水産試驗場・廳立小樽水産學校・小樽育暉
學校・小樽育成院ニ遣サル。二十五日午前十時二十分小

前田農場ニ
臨マセラル

繪公會堂御出門、中央小楡停車場ニテ汽車ニ御搭乗、十
 一時二十八分輕川停車場ニ著カセラレ、前田農場ニ行啓、
 場主侯爵前田利爲ノ代理伯爵前田利同及ヒ陸軍中將柴野
 義廣ニ謁ヲ賜ヒ、面積・農場組織及ヒ經營事業ノ大要ヲ
 聽カセラレ、飼養ノ乳牛及ヒ農場耕作ノ實況ヲ覽給フ。
 了リテ再ヒ輕川停車場ニテ汽車ニ御搭乗、午後零時二十
 二分札幌停車場ニ御著、同三十五分札幌區御旅館豐平館
 ニ入ラセラル。三時御出門、北海道廳ニ行啓、石原長官
 以下五十餘名ニ謁ヲ賜ヒ、長官ヨリ道治ノ大要ヲ聽カセ
 ラレ、陳列ノ標本及ヒ模型ヲ御覽、四時四十分御旅館ニ

札幌區ニ御
著

札幌神社御
拜

遷啓アフセラル。爾後、御五泊アリ。即チ二十六日ハ鐵
 道院理事野村彌三郎以下有位帶動者等ニ謁ヲ賜ヘル後、
 午前八時三十分御出門、官幣大社札幌神社ニ行啓、假神
 殿ニテ御拜、玉串ヲ捧ゲサセラレ、境内ノ高地ニ設ケタ
 ル御野立所ニテ札幌市街・附近村落及ヒ石狩平野ヲ展望
 アラセラル。尋イテ區内各學校等ニ行啓アリ。北海道師
 範學校ニテハ校長星菊太等ニ謁ヲ賜ヒ、本科第一部第三
 學年生ノ教育・同第二學年生ノ博物・同第四學年生ノ教
 育各授業竝ビニ全道小學校兒童成績品等ヲ御覽アリ。廳
 立札幌高等女學校ニテハ校長工藤金彦等ニ謁ヲ賜ヒ、第

東北帝國大學農科大學
ニ行啓

北海道農事
試験場ニ行啓

三學年生ノ地理・第四學年生ノ圖書・補習科生ノ音樂各授業ノ狀ヲ覽給フ。次ニ東北帝國大學農科大學附屬博物館並ビニ植物園ヲ經テ東北帝國大學農科大學ニ行啓、學長佐藤昌介以下職員ニ謁ヲ賜ヒ、農學・農藝化學・水産各講堂及ビ圖書館内各標本機械陳列室等ヲ御巡覽、夫主任教授ヨリ説明ヲ聽キ給フ。午後三時四十五分大學ヲ出デ、北海道農事試験場ニ臨ミ、場長技師大島金太郎ニ謁ヲ賜ヒ、北海道重要農産統計・農産物・土壤・肥料・繭絲・病蟲害標本・農具・農家副業的の生産品・試験成績並ビニ園藝圃・種藝圃ヲ御覽アリ。更ニ應立札幌中學校

ニテ校長山田幸太郎等ニ謁ヲ賜ヒ、第五學年生ノ國語・第四學年生ノ代數・第三學年生ノ英語及ビ生徒成績品並ビニ選拔生徒十五組ノ擊劍試合ヲ御巡覽、五時五十分御旅館ニ還啓アリ。石原北海道廳長官・前田伯爵・柴野陸軍中將等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。二十七日ハ午前八時三十分御出門、區立女子職業學校ニ行啓、本科第三學年生ノ裁縫授業ヲ始メ各學年生ノ裁縫・刺繡・造花・編物・みしん裁縫等ノ合併實習ヲ覽給ヒ、更ニ生徒成績品陳列室及ビ區内小學校兒童並ビニ區立第二工業補習學校生徒成績品陳列室ヲ御覽アリ、中島公園内ヲ過リ、區内各小學

山鼻屯田兵
村ニ行啓

帝國製麻會
社等御覽

校生徒ノ運動會ヲ覽給フ。尋イテ山鼻屯田兵村ニ臨ミ、御野立所ニテ石原北海道廳長官ヨリ明治十四年車駕巡幸ノ際御駐蹕ノ狀況竝ビニ屯田兵村ノ位置・沿革・屋舎ノ構造等ニ就キテ御聽取ノ後、札幌區外五郡産牛馬組合ノ牛馬ヲ御覽アリ。北海道物産陳列場ヲ經テ十一時四十分一旦還啓アラセラル。午後二時再ビ御出門、札幌競馬場ニ行啓、札幌競馬俱樂部開催ノ秋季競馬ヲ御觀覽アリ、六時四十分還啓アラセラル。二十八日八午前九時御出門、帝國製麻株式會社札幌製品工場ニ行啓、專務取締役土岐横ヨリ工場ノ來歴及ビ現狀ヲ御聽取アリ、陳列場ニ於テ

步兵第二十五聯隊ニ行啓

亞麻種子・亞麻生草・乾莖纖維・亞麻絲織物等ヲ、第二工場ニ於テ御線機ヲ、第三工場ニ於テ續線機・延線機・粗紡機・精紡機・綴揚機ヲ、第六工場ニ於テ經卷機・整經機・糊付機・緯卷機・織機ヲ順次ニ御覽アラセラル。尋イテ大日本麥酒株式會社札幌支店ニ臨ミ、社長馬越恭平ニ謁ヲ賜ヒ、會社ノ來歴及ビ現狀ニ就キテ聽カセラレ、工場ニテ麥酒製造・麥酒濾過・洗瓶・入瓶・殺菌・商標貼附・入箱各作業狀況ヲ御覽アリ。次ニ步兵第二十五聯隊ニ行啓、聯隊長陸軍歩兵大佐稻村新六ヨリ聯隊ノ歴史・隊務ノ概要及ビ衛生ノ現況等ヲ御聽取アリ、將校八十餘

月寒種畜牧
場ニ臨ミ給

名ニ謁ヲ賜ヒ、將校ノ擊劍試合・下士卒ノ銃劍術・基本演習・^{あらいね}舊士人ノ銃劍術・部隊ノ集合試合ヲ御覽、特ニ入營中ノ舊士人五名ヲ御前近ク召シ、聯隊長ヲシテ軍人ノ精神ニ關スル數ヶ條ヲ試問セシメラル。午後二時十分聯隊ヲ出テ、農商務省月寒種畜牧場ニ到リ、場長技師岩波六郎以下諸員ニ謁ヲ賜ヒ、庭前ニ於テ種牛・乳牛等ヲ、製乳所ニ於テ牛乳ノ加温及ビ冷却・罐ノ消毒・牛酪乾酪煉乳ノ製造及ビ製罐器械ヲ、第三牝牛舎ニ於テ飼養及ビ管理ノ狀況ヲ、更ニ場内ニ於ケル放牧ノ狀態ヲ御巡覽、四時十五分還啓アリ。佐藤農科大學長・札幌地方裁判所

圖書寮

御使差遣

長判事松浦龜藏等諸員ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。二十九日ハ午後一時三十分御出門、私立北海中學校ニ行啓、第四學年生ノ化學・第三學年生ノ英語及ビ生徒ノ兵式體操各授業及ビ生徒成績品ヲ御覽アリ。尋イテ北海道種畜場ニ行啓、陳列室ニテ統計圖・種畜寫眞・牧草標本ヲ、牧草地ニ於テ牛馬・綿牛ヲ放牧セル狀並ビニ牧草運搬ノ實況ヲ又御野立所ニテ牧馬ノ追馬ヲ覽給フ。五時四十分御旅館ニ還啓アリ。札幌區御滞留中二十五日ニハ甘露寺東宮侍從ヲ應立感化院ニ、二十八日ニハ田内東宮侍從ヲ夕張炭山ニ、二十九日ニハ甘露寺東宮侍從ヲ帝室林野管理局札

幌支局ニ遺サレタリ。北海道行啓御日記・侍從日記・行啓録・官報・勅諭奉迎誌（北海道廳）・大正天皇御駕録（同上）奉迎記録（札幌區役所）

札幌區御發

富士製紙會社江別工場ニ行啓

三十日、午前九時十五分御出門、札幌停車場ニテ汽車ニ御搭乗、江別停車場ニテ御下車、富士製紙株式會社江別工場ニ行啓、社長小野金六ニ謁ヲ賜ヒ、工場ノ沿革ニ就キテ御聽取ノ後、工場内碎木室・くらいんだー室・すくりん室・原料置場・ひいたー室及ビ瀧場ヲ御覽アリ、十一時二十分江別停車場御發車、午後三時五十分旭川停車場ニ御著、四時三十五分旭川町御旅館旭川偕行社ニ入ラセラレ、第七師團長陸軍中將男爵上原勇作以下師團

旭川町ニ御著

第七師團司令部ニ行啓

將校及ヒ相當官ニ謁ヲ賜フ。是ヨリ御三泊アリ。即チ三十一日ニハ鐵道院技師稻垣兵太郎外五十五名ニ謁ヲ賜ヘル後、午前七時三十分御出門、歩兵第二十七聯隊ニ行啓、聯隊長陸軍歩兵大佐白井二郎以下諸員ニ謁ヲ賜ヒ、聯隊ノ狀況ヲ聽カセラル。尋イデ第七師團司令部ニ行啓、上原師團長ヨリ管下現況ニ關スル書類ヲ受ケサセラレ、且ツ防寒具類ヲ覽給フ。次ニ野砲兵第七聯隊ニテ聯隊長陸軍砲兵大佐坂部正恒等ニ謁ヲ賜ヒ、兵令並ビニ歩兵科將校下士卒ノ器械體操・騎兵科下士卒ノ軍刀術等ヲ御覽アリ。更ニ上川競馬場ニ臨ミ、騎兵・野砲兵・輜重兵將校

諸兵聯合野
外演習御覽

上川中學校
等ニ臨ミ給

ノ馬術並ヒニ競馬ヲ御觀覽アリ、練兵場ニテ歩兵大隊
 練ヲ閱セラレタル後、十一時四十五分御旅館ニ遷啓アリ。
 午後一時再ヒ御出門、近文臺千代ノ山ニ臨ミ、御野立所
 ニ於テ諸兵聯合野外演習ヲ御覽、四時遷啓アラセラル。
 五時三十分ヨリ御旅館中庭ニ於テ將校下士卒ノ劍術ヲ覽
 給フ。尋イテ上原第七師團長・歩兵第十三旅團長陸軍少
 將宇宿行輔等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。九月一日ハ午前八時
 五十七分御旅館御出門、練兵場ニテ旭川町立各小學校ノ
 聯合運動遊戯ヲ御覽アラセラル後、應立上川中學校
 ニ行啓、校長小林滿三郎等ニ謁ヲ賜ヒ、第三學年生ノ修

圖書寮

神樂岡御野
立所ニ行啓

身・第四學年生ノ英語・第五學年生ノ漢文授業及ヒ生徒
 成績品・教授用標本ヲ御巡覽アリ。尋イテ應立上川高等
 女學校ニテ校長明石孫太郎ニ謁ヲ賜ヒ、第四學年生ノ遊
 戯・補習科生ノ國語・第三學年生ノ歴史ノ授業及ヒ生徒
 成績品陳列室ヲ覽給フ。更ニ神谷酒造合資會社第一醸造
 場ニ臨ミ、社長神谷傳兵衛ヨリ會社ノ狀況ニ就キテ御聽
 取ノ後、原料上昇機・原料蒸煮及ヒ糖化機・醱酵室・
 酵母培養室・蒸溜室等ヲ御覽アラセラル。十一時四十分
 旭川停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、神樂岡假停車場ニテ御下
 車、徒歩ニテ坂路ヲ登ラセラレ、丘上ノ御休憩所ニテ御

御使差遣

瞰望、帝室林野管理局札幌支廳長帝室林野管理局主事田町與三郎ノ御料地ニ關スル説明ヲ聽キ給フ。午後二時十二分神樂岡假停車場御發車、車中ニテ上川御料地水田ヲ御展望、三時四十分御旅館ニ遷啓アラセラル。夫ヨリ庭上ニ於テあいぬ人ノ熊祭ヲ御覽アリ。歩兵第十四旅團長陸軍少將内藤新一郎以下將校諸員ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。猶ホ旭川町御滞在中八月三十一日東宮侍從田内三吉ヲ東旭川屯田兵村及ヒ藤野牧場ニ、九月一日東宮侍從甘露寺受長ヲ空知郡砂川村三井挽材所及ヒ樺戸郡新十津川村ニ、田内東宮侍從ヲ神樂村東御料地ニ、東宮武官大内義一ヲ

旭川町御發

旭川衛戍病院ニ、二日甘露寺東宮侍從ヲ旭川町立北嶺尋常高等小學校及ヒ川上第五尋常小學校ニ遣ル。北海道行啓御日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録・官報・鶴駕奉迎誌（北海道廳）・大正天皇鶴駕錄（同上）

釧路町ニ御

九月二日、午前五時十五分御出門、旭川停車場ニテ汽車ニ御搭乘、午後零時二十五分帶廣假停車場ニ著カセラレ、帶廣町公會堂ニ行啓、同町在住ノ文官武官有資格者等ニ謁ヲ賜ヒ、十勝産ノ馬匹及ヒ物産ヲ御覽アラセラル。午後二時帶廣假停車場御發車、六時二十分釧路停車場ニ著キ給ヒ、同五十分釧路町御旅館公會堂ニ入ラセラレ、御二泊アリ。三日八午前十時御出門、知人岬上ナル物産陳

軍馬補充部
本部 釧路支
部 二行啓

列場ニ行啓、地方物産及ヒ馬匹ヲ御覽アリ、尋イデ御休
憩所ニ於テ釧路築港事務所長北海道廳技師關屋忠正ニ築
港ノ理由・設計及ヒ建設狀況ヲ御下問アリ、又現狀ヲ覽
給フ。十一時三十五分一旦御旅館ニ遷啓アリ。午後一時
五十分再ヒ御出門、釧路停車場ヨリ汽車ニ御搭乗、三時
六分白糖假停車場ニ著カセラレ、軍馬補充部本部釧路支
部ニ行啓、軍馬補充部本部長陸軍少將本多道純以下諸員
ニ謁ヲ賜ヒ、補充部本部一般ノ概況及ヒ釧路支部ノ狀況
ヲ聽カセラレ、馬匹ノ放牧・誘導ノ狀、育成良馬ノ立馬・
牽馬・舍飼ノ狀況及ヒ常歩・速歩ノ追運動ヲ御覽、往路

ヲ經テ、五時十分旅館ニ遷啓アラセラル。尋イデ農業篤
志者ニシテ且ツ中川郡豐頃村ナル興復社ノ成功ニ與リテ
力アル二宮尊親及ヒ廣尾河西二郡内ニ於ケル開拓ニ功勞
著シキ依田勉三ヲ御旅館ニ召シ、東宮大夫男爵波多野敬
直ヲシテ臺旨ヲ傳ヘシメ給フ。夫ヨリ子爵仁禮景助・本
多軍馬補充部本部長等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。釧路町御滯
在中三日東宮侍從田内三吉ヲ興復社殖民地ニ、翌四日同
侍從ヲ新田製遊所ニ、東宮侍從甘露寺受長ヲ釧路第一尋
常高等小學校ニ遣サル。四日午前五時四十分釧路公會堂
御出門、釧路停車場ヨリ汽車ニ御搭乗アリ、旭川停車場

旭川町御發
室蘭町ニ御
著

ニテ御下車、午後五時五十分旭川借行社ニ御著、一泊ア
ラセラル。五日午前九時御出門、旭川停車場ヨリ汽車ニ
御搭乗アリ、午後五時五十分室蘭停車場ニ著カセラレ、
六時五分室蘭町日本製鋼所内御旅館行啓直後「瑞泉」ノ名ヲ賜フニ入
リ給フ。是ノ日御使トシテ田内東宮侍從ヲ白老舊土人學
校竝ビニ同地ナル明治十四年行在所址ニ、甘露寺東宮侍
從ヲ放生村萩野ナル駐蹕ノ地ニ遣サル。室蘭町ニハ御二
泊アリ。即チ六日ハ日本製鋼所取締役會長男爵山内萬壽
治・伯爵廣澤金次郎・同寺島誠一郎・同川村鐵太郎・同
副島道正・男爵伊達基理等諸員ニ謁ヲ賜ヒタル後、午前

日本製鋼所
工場ニ行啓

八幡山ニ御
登臨

九時御旅館ヲ出テ、日本製鋼所工場ニ行啓、第七工場ニ
於テ汽鎚ノ鍛鍊作業ヲ、第六工場ニ於テ諸種ノ木型製作
ヲ、第十二工場ニ於テ瓦斯發生爐作業ヲ、第四工場ニ於
テ四千噸及ビ二千噸ノ水壓機使用ニヨル砲身其ノ他ノ鍛
鍊作業ヲ、第二工場ニ於テ仕上工事竝ビニ砲材鑄塊ヲ、
被斷工事第一工場ニ於テ砲身其ノ他諸種ノ精削工事ヲ、
第三工場ニ於テ十二吋砲び一鋼環煙焔作業竝ビニ各工場
陳列ノ製作品ヲ順次ニ御覽アリ、十時五十分還啓アラセ
ラル。午後三時三十分再ビ御出門、八幡山ニ御登臨、御
野立所ニ於テ室蘭町市街及ビ附近景勝ヲ展望アリ。山麓

室蘭町御發

ナル往年ノ行在所址ヲ御覽、四時五十五分還啓アラセラ
 ル。尋イデ寺島・川村・副島各伯爵等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜
 フ。是ノ日甘露寺東宮侍從ヲ伊達村開墾地ニ、田内東宮
 侍從ヲ室蘭尋常高等小學校及ビ天澤泉ニ、東宮武官子爵
 田村丕顯ヲ日本製鋼所職工共濟病院ニ遣サル。北海道行
 啓御日記
 侍從日記・行啓備・官報・鶴駕奉迎誌(北海道廳)・東
 宮殿下行啓關係書(室蘭町日本製鋼所)・行啓關係書類
 上(同)

七日、午前七時三十分室蘭町御旅館御出門、新冠御料
 牧場ニ嚮ハセラル。即チ室蘭停車場ニテ汽車ニ御搭乘、
 九時四十七分苫小牧停車場ニ著カセラレ、輕便鐵道ニ御

圖書寮

門別村ニ御
一泊

新冠御料牧
場ニ御著

移乘、十一時四十分勇拂郡鶴川村ニ御著、御休憩所ニテ
 地方所産ノ駿馬ヲ御覽アリ。尋イデ同所ヲ出テ、午後三
 時十五分沙流郡門別村御旅館飯田信三別邸ニ入ラセラル。
 御一泊ノ後、八日午前七時三十分御出門、途次、節婦山
 上ノ御野立所ニテ海上ヲ御眺望アリ、午後一時三十五分
 下下方村御休憩所ニ著カセラレ、近衛騎兵將校及ビ北海
 道廳警部等ノ騎乘ヲ御覽、二時五十五分新冠御料牧場内
 ナル御旅館ニ入ラセラル。主馬寮主事菊池末太郎・新冠
 御料牧場長主馬寮技師山下盛治等ニ謁ヲ賜フ。是ヨリ御
 三泊アリ。即チ九日ハ午前八時御旅館前庭ニ於テ深雪。

種馬厩舎ニ臨マセラル

觀農臺ニ臨マセラル

春日ノ二頭ノ駿馬ニ御試乗アリ、九時四十分御出門、種馬厩舎ニ臨マセラレ、厩舎御通覽ノ後、馬見所ニ於テ洋種牡馬・種牡馬ニ就キ主馬頭子爵藤波言忠ヨリ説明ヲ御聽取、種馬運動場ニ於テ牡馬ノ運動ヲ覽給フ。更ニ洋種牝馬厩舎ニ臨ミ、厩舎御通覽ノ後、馬見所ニ於テ雜種牝馬・洋種牝馬・洋種蕃殖牝馬ヲ、又厩舎前廣場ニ於テ牝馬並ビニ仔馬ヲ放テルノ狀ヲ御覽アラセラル。夫ヨリ觀農臺ニ嚮ハセラレ、途次、路傍ノ牧草圃ニテ剪草機・散草機・集草機ヲ使用シ牧草刈取ヨリ集草ニ至ルマデノ作業ヲ爲スノ狀ヲ御一覽アリ。觀農臺ハ染退川沿岸平野ニ

圖書寮

臨ミ、御料地水田四十餘町歩ヲ下瞰シ、流レヲ隔テテベ
 らり山ヨリ碧嶽ニ連ル丘陵平野ノ全景ヲ一望ノ下ニ收メ
 風景無比ノ佳境ナリ。暫時御展望ノ後、燕麥ノ脱稈・六
 頭曳洋犁ノ再整及ビ玉蜀黍碎挫機ノ作業ヲ御覽、午後零
 時十五分還啓アラセラル。尋イデ御旅館ニ於テ馬群追込
 ノ實況ヲ覽給フ。三時再ビ御出門、競馬場ニ行啓、純日
 本式調子來・兒童競馬・雜種新馬競走・立乘競馬・混合
 馬競走・めのか競馬・牧場員競馬・優勝馬競走等ヲ御覽、
 五時四十分還啓アリ。藤波(主)馬頭・山下御料牧場長等ニ
 晚餐ノ陪食ヲ賜フ。十日ハ御料牧場事務所ニ於テ御乘馬

種馬厩舎ニ臨マセラル

觀農臺ニ臨マセラル

春日ノ二頭ノ駿馬ニ御試乗アリ、九時四十分御出門、種馬厩舎ニ臨マセラレ、厩舎御通覽ノ後、馬見所ニ於テ洋種牡馬・種牡馬ニ就キ主馬頭子爵藤波言忠ヨリ説明ヲ御聽取、種馬運動場ニ於テ牡馬ノ運動ヲ覽給フ。更ニ洋種牝馬厩舎ニ臨ミ、厩舎御通覽ノ後、馬見所ニ於テ雜種牝馬・洋種牝馬・洋種蕃殖牝馬ヲ、又厩舎前廣場ニ於テ牝馬並ビニ仔馬ヲ放テルノ狀ヲ御覽アラセラル。夫ヨリ觀農臺ニ嚮ハセラレ、途次、路傍ノ牧草圃ニテ剪草機・散草機・集草機ヲ使用シ牧草刈取ヨリ集草ニ至ルマデノ作業ヲ爲スノ狀ヲ御一覽アリ。觀農臺ハ染退川沿岸平野ニ

臨ミ、御料地水田四十餘町歩ヲ下瞰シ、流レヲ隔テテベラリ山ヨリ碧嶽ニ連ル丘陵平野ノ全景ヲ一望ノ下ニ收メ風景無比ノ佳境ナリ。暫時御展望ノ後、燕麥ノ脱稈・六頭曳洋犁ノ再整及ビ玉蜀黍碎挫機ノ作業ヲ御覽、午後零時十五分還啓アラセラル。尋イデ御旅館ニ於テ馬群追込ノ實況ヲ覽給フ。三時再ヒ御出門、競馬場ニ行啓、純日本式調子乘・兒童競馬・雜種新馬競走・立乘競馬・混合馬競走・めのか競馬・牧場員競馬・優勝馬競走等ヲ御覽、五時四十分還啓アリ。藤波(主)馬頭・山下御料牧場長等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。十日ハ御料牧場事務所ニ於テ御乘馬

牧場内御遊

並ビニ鞍馬ヲ御覽ノ後、午前九時三十分騎馬ニテ御旅館御出門、牧場内銷夏臺・洗心臺ニ臨マセラレ、耕地・放牧地等ヲ御展望ノ後、追込厩舎ヲ覽給ヒ、十一時三十分還啓アラセラル。

新冠牧場

胡兒發縱逐風行 駿馬良駒奇骨成 喜見雄姿足軍用
馳驅奔走四蹄輕
自新冠牧場歸途過洗心臺下
冥々濛霧鳥聲沈 野外牧場乘馬臨 群畜一觀歸去晚
洗心臺下白雲深

新冠御發

ノ賦ニ御感想ノ一端ヲ拜察セラル。午後三時ヨリあいな人ノ悍馬捕獲及ヒ酒宴舞踏ヲ御覽アリ。尋イテ北海道廳長官石原健三以下諸員ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。十一日早朝御乘馬アリ、午前十時新冠御旅館御出門、往路ノ如ク下方及ヒ節婦御休憩所ヲ經テ午後五時十五分門別村飯田信三別邸ニ入り、御一泊アリ。翌十二日午前七時三十分御出門、鶴川村ニテ輕便鐵道ニ御搭乘、十一時三十五分苫小牧停車場ニ著カセラレ、勇拂郡苫小牧村ナル王子製紙株式會社苫小牧分社ニ御立寄、俱樂部内ノ御休憩所ニ入り給フ。陳列品御覽ノ後、午後一時三十分ヨリ工場ニ

苫小牧村ニ御立寄

室蘭港ヨリ
軍艦香取ニ
御搭乗

臨ミ、貯水池・調木室・抄取室・調成室・第一第二抄紙
室・仕上室・荷造室ヲ御巡覽、同會社事務取締役高橋善
雄ノ説明ヲ聽カセラル。二時五十分苫小牧停車場ヨリ汽
車ニ御搭乗、四時四十七分室蘭停車場ニ御著、直ニ軍艦
香取ニ乘ラセラル。六時十五分室蘭港御解纜、横須賀軍
港ニ嚮ヒ給フ。十四日午後一時五十分横須賀ニ御入港、
參候セル海軍大臣男爵齋藤實・横須賀鎮守府司令長官海
軍中將男爵瓜生外吉等ニ謁ヲ賜ヒ、艦載水雷艇ニテ逸見
埠頭ニ到リ、二時五十五分御上陸アリ。横須賀停車場ヨ
リ汽車ニ御搭乗、新橋停車場ニテ内閣總理大臣侯爵西園

東京ニ還啓

北海道行啓
ノ復命ヲ奏
シ給フ

寺公望・宮内大臣伯爵渡邊千秋・元帥公爵大山巖等ノ奉
迎ヲ受ケ給ヒ、五時五分假東宮御所ニ還啓アラセラル。
猶ホ今次行啓中、北海道廳ニ金五千圓、札幌區ニ金貳千
圓、函館區及ビ小樽區ニ各々金千五百圓ヲ賜ヒ、慈善事
業ノ資ニ宛テシメラル。以下諸町村其ノ他之ニ準ジ、各々
差アリ。北海道行啓御日記・侍後日記・行啓
録・官報・鶴駕奉迎誌(北海道廳)
十五日、午前十時御出門參内、天機竝ビニ御機嫌ヲ候
シ、北海道地方行啓ノ復命ヲ奏シ給ヒ、午後零時五分還
啓アリ。翌十六日裕仁親王・雍仁親王・宣仁親王ヲ隨ヘ
再ビ參内、北海道ヨリ齎シ給ヘル物ヲ進獻アラセラル。

侍從日記・庶務課日記・侍從
日録・行啓録・皇后宮職日記

十六日、依仁親王・同妃周子並ビニ稔彦王ニ對面アラ
セラレ、陸軍大臣男爵石本新六・農商務大臣男爵牧野伸
顯・公爵桂太郎・北海道廳長官石原健三・子爵曾我祐準
等ニ謁ヲ賜ヒ、又候爵松方正義ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。是
ノ月猶ホ假東宮御所ニ於テ十七日載仁親王・恒久王妃昌
子内親王・恒徳王・成久王妃房子内親王・永久王ニ、二
十六日鳩彦王ニ、二十八日貞愛親王・守正王・同妃伊都
子ニ、三十日成久王ニ御對面ノコトアリ。又謁ヲ賜ヘル
者ニハ、宮内大臣伯爵渡邊千秋・學習院長伯爵乃木希典・

鑄金展覽會
等ニ行啓

海軍大臣男爵齋藤實・内務大臣原敬・司法大臣松田正久・
軍學參議官海軍大將伯爵東郷平八郎・元帥公爵大山巖・
侍從長公爵徳大寺實則・候爵井上馨・臺灣總督伯爵佐久
間左馬太等アリ。侍從日記・庶務課日記

十七日、午後一時御出門、上野公園竹ノ臺陳列館ニ開
催セル日本鑄金會第四回鑄金展覽會ニ行啓、伯爵土方久
元ニ謁ヲ賜ヒ、場内御巡覽アリ。尋イテ同公園内日本美
術協會列品館ニ開ケル大日本鑄業會第二回全國鑄業品共
進會ニ臨ミ、會頭子爵金子堅太郎以下幹事四名ニ謁ヲ賜
ヒ、陳列品ヲ覽給フ。更ニ不忍池畔ナル納涼博覽會ヲ過

鹽原ニ行啓

リ、四時四十五分還啓アラセラル。侍從日記・庶務
 十八日、鹽原ニ行啓アラセラル。午前六時四十五分御
 出門、上野停車場ヨリ汽車ニ御搭乗アリ、西那須野停車
 場ニテ御下車、午後零時十分那須郡西那須野村ナル候爵
 松方正義ノ別邸ニ行啓、正義並ビニ妻滿佐子ニ謁ヲ賜ヒ
 庭園ニ於テ飼養ノ馬匹及ビ群羊ヲ御覽アリ、二時五十分
 別邸ヲ出テ、關谷小學校ヲ經テ四時四十分鹽原御用邸ニ
 入ラセラル。爾後、御淹留一週間ニ及ブ。供奉ヲ命セラ
 レタル者ハ、東宮大夫男爵波多野敬直・東宮武官長男爵
 村木雅美・東宮主事馬場三郎・東宮侍從田内三吉・同原

圖書寮

紀久子女王
ノ誕生ヲ賀
シ給フ

大日本糖酸
製造株式會

恒太郎・同本多正復・同高辻宜麿・東宮武官山岡豐一・
 同大内義一・侍醫伊勢錠五郎等ナリ。侍從日記・庶務
 從職日録・官報

是ヨリ先十二日鳩彦王妃允子内親王分娩、第一女子誕
 生セルヲ以テ、東宮侍從本多正復ヲ宮城竝ビニ朝香宮邸
 ニ遣シ、祝賀セシメラレシガ、是ノ日紀久子ト命名アリ
 タルニヨリ、天皇・皇后ニ鮮鯛貳折ヲ進獻、王竝ビニ妃
 ニ三種交魚貳折ヲ、女王ニ鮮鯛料金五千疋ヲ賜フ。贈賜
 庶務課
 日記

二十一日、午前八時鹽原御用邸御出門、鹽谷郡鹽原村

社ニ行啓

明治四十四年十月

五二

東京ニ還啓

中鹽原ニ新設セル大日本醋酸製造株式會社ニ臨ミ、工場
 及ビ作業ノ狀況ヲ御覽、十一時還啓アラセラル。猶ホ鹽
 原御淹留中ノ御動靜ハ概ネ例年ニ於ケルカ如ク、昨二十
 日ニハ侯爵松方正義ニ、又二十二日ニハ元帥公爵大山巖
 ニ午餐ノ陪食ヲ賜ヘル等ノコトアリタリ。二十五日午前
 七時御用邸御出門、西那須野村ナル元帥公爵大山巖ノ別
 邸ニ臨ミ、御休憩ノ後、西那須野停車場ヨリ汽車ニ御搭
 乘、午後三時三十五分假東京御所ニ還啓アラセラル。侍
 日記・庶務課日記・侍從職日記・
 皇后宮職日記・行啓録・官報

圖書寮

御誕辰祝ヲ
御進行

明治四十四年十月

五三

大臣伯爵渡邊千秋ニ謁ヲ賜フ。猶ホ是ノ月謁ヲ賜ヘル者
 ニハ、朝鮮總督伯爵寺內正毅・元帥公爵大山巖・騎兵監
 陸軍中將秋山好古・軍事參議官陸軍大將子爵川村景明・
 內閣總理大臣侯爵西園寺公望・遞信大臣伯爵林董・文部
 大臣長谷場純孝・大藏大臣山本達雄・海軍軍令部長海軍
 大將男爵伊集院五郎・元帥子爵井上良馨・侯爵松方正義・
 元帥公爵山縣有朋・同伯爵奧保鞏・滋賀縣知事川島純幹・
 京都華族總代六條有潤・侍從長公爵德大寺實則・公爵九
 條道實・海軍大臣男爵齋藤實等アリ。侍從日記・
 庶務課日記

二日、偶々北海道行啓中ナリシヲ以テ延期アラセラレ

タル御誕辰祝ヲ、妃並ヒニ裕仁親王ノ誕辰祝賀ト共ニ追
 行シ給ヒ、午前十時公式鹵簿乙ノ部ニテ御出門參内、天
 皇・皇后ニ謁シ、進獻例ノ如シ。十一時二十五分還啓ノ
 後、貞愛親王・載仁親王・同妃智惠子・依仁親王・同妃
 周子・博恭王・同妃經子・成久王・同妃房子内親王・恒
 久王・同妃昌子内親王ト午餐御會食、祝宴ヲ御催アリ、
 元帥公爵大山巖・宮内大臣伯爵渡邊千秋・侯爵松方正義・
 伯爵土方久元等ヲ之ニ陪セシム。侍從日記・庶務課日記・
 侍從職日記・皇后宮職
 日記・行啓錄・
 典式錄・官報
 四日、貞愛親王ニ御對面ノ後、御出門、主馬寮分廐ニ

圖書寮

妃ノ御平復
ヲ賀セララル

東伏見宮邸
ニ行啓

臨ミ、又載仁親王ト對面アラセラル。是ノ月猶ホ七日恒
 久王ニ、八日成久王ニ、十日聰子内親王ニ、十二日載仁
 親王ニ御對面ノコトアリ。侍從日記・
 庶務課日記
 九日、妃ノ御遠和平復ヲ賀セラレ、鳩彦王・成久王妃
 房子内親王・恒久王妃昌子内親王ヲ召シ、午餐ヲ會食ア
 ラセラル。十一日又貞愛親王・載仁親王・同妃智惠子・
 博恭王妃經子・檢彦王並ビニ宮内大臣伯爵渡邊千秋以下
 宮内省各部長官ヲ午餐ニ召シ給フ。侍從日記・
 庶務課日記
 十四日、午後一時五十分御出門、東伏見宮邸ニ行啓、
 依仁親王ニ御對面、三時四十五分還啓アラセラル。十一

岐阜・愛知
兩縣下並ビ
= 佐伯・廣
島兩灣ニ行
啓

名古屋市ニ
御著

月四日ニモ亦コノコトアリ。侍務日記・庶務
課日記・行啓録

十五日、特別騎兵演習及び第一第二艦隊吳佐世保舞鶴
鎮守府竹敷要港部聯合小演習ヲ御視察ノ爲メ岐阜・愛知
兩縣下並ビニ佐伯・廣島兩灣ニ行啓アラセラル。御出發
ニ先立チ、昨十四日參内、天皇・皇后ニ請暇ヲ奏啓アリ。
是ノ日午前八時三十五分御出門、新橋停車場ニテ載仁親
王以下陸軍大臣男爵石本新六・元帥公爵大山巖等諸員ノ
奉送ヲ受ケ、汽車ニ御搭乘アリ、午後五時五十五分名古
屋停車場ニ御著、六時二十五分名古屋離宮ニ入ラセラレ、
教育總監陸軍大將男爵淺田信興・特別騎兵演習總監陸軍

各務原方面
ノ演習御覽

中將秋山好古ニ謁ヲ賜フ。此ノ行、供奉ヲ命セラレタル
者ハ、東宮大夫男爵波多野敬直・東宮武官長男爵村木雅
美・東宮主事子爵錦小路在明・東宮侍從田内三吉・同原
恒太郎・同甘露寺受長・東宮武官大内義一・同山岡豐一・
同子爵田村丕顯・侍醫土屋岩保等ナリ。
是ヨリ御四泊アリ。即チ十六日ハ午前六時三十分御出
門、名古屋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、七時四十五分岐阜
停車場ニ著カセラレ、乘馬ニテ各務原ニ臨ミ、稻葉郡宮
前村各務原ニ面セル高地ニ於テ特別騎兵演習ヲ御覽アリ、
尋イデ山麓ニテ講評ヲ聽カセラル。午後零時三十分同郡

木曾川方面
ノ演習御覽

原見村ニ移リ給ヒ、第二回ノ演習ヲ御覽、三時四十五分
 岐阜停車場御發車、四時五十分離宮ニ還啓アラセラル。
 十七日ハ午前五時二十五分御出門、名古屋停車場ヨリ御
 發車、六時二十九分木曾川停車場ニ著カセラレ、乘馬ニ
 テ葉栗郡北方村木曾川左岸ナル御野立所ニ臨ミ、演習御
 覽ノコトアリ、八時五十五分木曾川停車場御發、九時五
 十五分離宮ニ還啓アラセラル。尋イデ愛知縣知事深野一
 三・名古屋控訴院長判事藤田隆三郎・公爵徳川家達以下
 文武諸官ニ謁ヲ賜フ。午後二時三十分天主閣ニ御登臨、
 練兵場ニ於テ行フ名古屋市各小學校男女生徒二萬五千餘

本地原方面
ノ演習御覽

名古屋市御

人ノ運動會ヲ御展望アリ、四時三十分還啓アラセラル。
 十八日ハ午前七時乘馬ニテ御出門、東春日井郡旭村本地
 原御野立所ニ臨マセラレ、演習ヲ御覽、秋山特別騎兵演
 習統監ヨリ講評ヲ聽キ給フ。午後一時同所ヲ出デ、名古
 屋練兵場ニ到リ、操練ヲ閱セラレ、四時還啓アリ。尋イ
 デ淺田教育總監・秋山特別騎兵演習統監並ビニ第三師團
 長陸軍中將男爵渡邊章・陸軍中將内山小二郎・深野愛知
 縣知事・岐阜縣知事薄定吉等ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。 侍從
日記
庶務課日記・行啓録・侍從職日録・皇后宮
職日記・官報・行幸啓日誌(愛知縣廳)
 十九日、午前七時二十分名古屋離宮御出門、名古屋停

宮島ヨリ軍艦富士ニ御搭乗

洋上ニ演習御覽

車場ヨリ汽車ニ御搭乗、途次京都停車場ニ於テ邦彦王・多嘉王・恒憲王ニ御對顔アリ、午後五時岡山停車場ニ著カセラレ、同十五分岡山市御旅館後樂園ニ入ラセラル。尋イテ岡山在住文武諸官百九十名ニ謁ヲ賜フ。二十日午前七時二十五分御出門、岡山停車場ニテ汽車ニ御搭乗、午後零時五十五分宮島停車場ニ著カセラレ、棧橋ヨリ艦載水雷艇ヲ以テ軍艦富士ニ乗ラセ給ヒ、海軍軍令部長海軍大將男爵伊集院五郎・吳鎮守府司令長官代理吳海軍工廠長海軍少將伊地知季珍等ニ謁ヲ賜フ。二時御解纜、佐伯灣ニ嚙ハセラル。二十一日ハ日向・土佐間ノ洋上ニ於

圖書寮

佐伯灣ニ御假泊

大入島ノ御動靜

テ戦闘演習ヲ御覽アリ、夜ニ入りテ更ニ水雷ノ襲撃演習ヲ覽給フ。二十二日午後四時二十三分佐伯灣ニ入ラセラレ、御假泊アリ。二十三日ハ午前八時二十五分艦載水雷艇ヲ以テ佐伯灣内大入島村石間浦ニ御上陸、灣ニ面セル西北方山上ニ登臨アラセラル。コノ時ノ御行動ハ大分縣知事官房ノ編纂ニ係ル「皇太子殿下佐伯灣行啓記」ニ詳細ニ謹録スル處ニシテ、行啓中ノ御動靜竝ビニ御德行ノ一端ヲ勞駕タラシムルモノアリト拜察セラル。仍リテ左ニ原文ノ一節ヲ抄録セントス。

頃テ午前十時ニ垂ントスル頃、旗ヲ樹テタル一隻ノ

ぼつてーら陸ニ向ツテ進行シ來リ、石間浦字白濱ニ
 著岸セシカ、文武官併テ十二人上陸シ、メボシト稱
 スル所ヨリ甘薯畑ノ畔ナル峻峻胸ヲ衝クノ坂徑ヲ縫
 ウテ、奉迎大白文字ノ設ケアル山上ヲ指シテ登攀ス
 ルヲ認ム。未タ何人ナルカラ辨セズト雖、煙花打揚
 場ノ主任トシテ附近ニ出張セル佐伯町助役松本谷次
 郎ハ、便チ之ヲ迎ヘントシテ坂道ノ中比ニテ之ニ及
 ビ、先導タル武官ニ向テ刺ヲ通ゼシニ、是ゾ加藤海
 軍中將ニシテ、示スニ是ナルハ殿下ニ御坐シマス
 旨ヲ以テセラル。谷次郎驚愕措ク所ヲ知ラズ、時恰

モ佐伯町長小田部隣ノ煙花場ヲ巡視ノ爲來ルニ會ス。
 即會皇告グルニ大事ヲ以テシ、直ニ頂上ニ到ル。
 殿下ハ既ニ頂上甘薯畑ノ畔ニ佇マセラレ、東宮武
 官長以下文武官ハ僅ニ其ノ影ヲ踏マザル底ノ一間餘
 ヲ隔テ、佇立セラレタリ。
 石間浦農畑木嘉十郎ハ碇泊ノ軍艦ヲ拜シテ、日露
 戦役ノ時軍艦須磨ニ戦死セシ亡兒ガ昔ノ名残ヲ惜マ
 ント、老妻ヲ伴ヒ此ノ頂上ニ登リシガ、恰モ殿下
 ノ御一行ニ遭遇シ、覺ヘズ畦畔ニ平伏セリ。
 殿下ニハ便チ幸ヒトヤ思召ケン、嘉十郎ニ向テ以

下皆東宮武官長御取次「此作物ハ何ナルカ」トノ
 仰セアリ、「甘薯ト申シ嶋民ノ常食ナル旨」ヲ言上
 セシニ、「斯ク見渡ス限り夥シク作レルハ食ニ餘ル
 ベシ」ト重ネテ仰セアリ、「餘ル分ハ賣リテ米ニ換
 ヲル旨」ヲ言上ス。尋テ脚下ノ石間部落ヲ指サレテ
 「彼ノ大ナル家ハ何カ」ト仰セアリ、「小學校ナル
 旨」ヲ言上ス。「部落ハ何戸アルカ」「九十八戸ア
 ル旨」ヲ言上セシニ、殿下ニハ「教育ニ精ガ出ル
 ノウ」ト有難キ御言葉ヲ下サレタリ。(中略)
 石間浦宮本茂平テフ漁夫ノ殿下ノ御間近ニ成ラ

セラル、ニモ拘ラズ「皆出テ拜メ、アナタ様ノ御通
 リゾ」ト蠻聲ヲ發シタル素朴ノ状態ハ今ニ傳ヘテ地
 方ノ一笑柄トナレリ。殿下方如何ニ御純眞ニ渡ラ
 セラレ、卑賤ノ老爺ニマテ御隔心ナク仁慈ヲ垂レサ
 セ給フカラ恐察シ奉ルベキナリ。
 御歸途ハ大曲テフ山ノ半腹ヲ巡ラセラル、時、大
 入島村荒網代浦小學校兒童カ當日とらほむノ検査
 ヲ終ヘ己カシ、家ニ歸ル一群ト行キ逢ヒタリ。兒童
 等ハ殿下ナルトハ知ル由モ無レドモ、貴人ト見ル
 ヤ徑路ノ下部ニ直立シテ敬禮ヲ行ヒシガ、殿下モ

亦可憐ナル兒童ヲシテ通行シ安カラシメントテニヤ、
玉體ヲ片寄ラセ給ヒタルヲ拜セシハ、恂ニ感泣ノ外
ナカリキ。

廣島灣ニテ
演習御覽

御歸艦ノ後、參候セル朝日艦長博恭王ト午餐ヲ御會食
アリ。午後二時三十分艦載水雷艇ニテ佐伯灣内ヲ巡航ア
ラセラル。尋イテ大分縣知事昌谷彰ニ謁ヲ賜フ。二十四
日午前八時御來艦ニ於テ海軍聯合小演習ノ講評ヲ聽カセ
ラレ、同三十分佐伯灣御解纜、午後五時十分廣島灣ニ御
著、御假泊アリ。二十五日八午前八時四十七分ヨリ第一
艦隊特種研究射撃ヲ御覽ノ後、午後零時十五分廣島灣ヲ

神戸港ニ御
上陸

御解纜、神戸港ニ嚮モ給フ。二十六日午後二時三分同港
ニ著カセラレ、兵庫縣知事服部一三ニ謁ヲ賜ヘル後、艦
載水雷艇ニテ築港ノ狀況ヲ御視察アリ。午後六時元帥伯
爵伊東祐亨並ビニ伊集院海軍軍令部長・服部知事等ニ晩
餐ノ陪食ヲ賜フ。二十七日午前五時四十分米利堅波止場
ヨリ御上陸、尋イテ神戸停車場ヨリ汽車ニ御搭乘アリ、
午後四時靜岡停車場ニ御著、同十分靜岡御用邸ニ入ラセ
ラレ、海軍中將竹内重利等ニ謁ヲ賜フ。二十八日午前六
時五十分御出門、靜岡停車場ヲ御發車アリ、十一時四十
分新橋停車場ニ御著、各皇族御使並ビニ陸軍大臣男爵石

廣島灣ニテ
演習御覽

亦可憐ナル兒童ヲシテ通行シ安カラシメントテニヤ、
 玉體ヲ片寄ラセ給ヒタルヲ拜セシハ、恂ニ感泣ノ外
 ナカリキ。

御歸艦ノ後、參候セル朝日艦長博恭王ト午餐ヲ御會食
 アリ。午後二時三十分艦載水雷艇ニテ佐伯灣内ヲ巡航ア
 ラセラル。尋イテ大分縣知事昌谷彰ニ謁ヲ賜フ。二十四
 日午前八時御乘艦ニ於テ海軍聯合小演習ノ講評ヲ聽カセ
 ラレ、同三十分佐伯灣御解纜、午後五時十分廣島灣ニ御
 著、御假泊アリ。二十五日八午前八時四十七分ヨリ第一
 艦隊特種研究射撃ヲ御覽ノ後、午後零時十五分廣島灣ヲ

神戸港ニ御
上陸

御解纜、神戸港ニ嚮モ給フ。二十六日午後二時三分同港
 ニ著カセラレ、兵庫縣知事服部一三ニ謁ヲ賜ヘル後、艦
 載水雷艇ニテ築港ノ狀況ヲ御視察アリ。午後六時元帥伯
 爵伊東祐亨並ビニ伊集院海軍軍令部長・服部知事等ニ晚
 餐ノ陪食ヲ賜フ。二十七日午前五時四十分米利堅渡止場
 ヨリ御上陸、尋イテ神戸停車場ヨリ汽車ニ御搭乘アリ、
 午後四時静岡停車場ニ御著、同十分静岡御用邸ニ入ラセ
 ラレ、海軍中將竹内重利等ニ謁ヲ賜フ。二十八日午前六
 時五十分御出門、静岡停車場ヲ御發車アリ、十一時四十
 分新橋停車場ニ御著、各皇族御使並ビニ陸軍大臣男爵石

東京高等師範學校ニ行啓

本新六・海軍大臣男爵齋藤實等ノ奉迎ヲ受ケ給ヒ、正午假東宮御所ニ遷啓アラセラル。尋イテ戴仁親王ニ御對面アリ、宮内大臣伯爵渡邊千秋・愛知縣知事深野一三等ニ謁ヲ賜フ。侍從日記・行啓録・庶務課日記・官報・皇太子殿下佐伯灣行啓記

二十九日、王世子李垠ニ御對面アリ、海軍大臣男爵齋藤實等ニ謁ヲ賜フ。猶ホ三十日、元帥伯爵奧保登ニ、三十一日、同子爵井上良馨・海軍軍令部長海軍大將男爵伊集院五郎ニ又謁ヲ賜ヘリ。侍從日記・庶務課日記

三十日、東京高等師範學校校舍新築竣工落成式並ビニ

圖書寮

創立四十年記念式ヲ執行スルヲ以テ、觀旨ニヨリ御名代トシテ午前八時三十分御出門、同校ニ行啓、式場ニ臨マセラル。尋イテ參内、同校行啓並ビニ特別騎兵演習及ビ海軍小演習御視察ノ復命ヲ奏シ給ヒ、午後二時二十五分遷啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・官報

十一月一日、守正王・鳩彦王妃允子内親王及ビ紀久子女王ニ對面アラセラル。海軍大臣男爵齋藤實・外務大臣子爵内田康哉・伯爵李完用・子爵朴齋純・同相重應等ニ謁ヲ賜フ。是ノ月猶ホ假東宮御所ニ於テ二日恒久王ニ、四日鳩彦王ニ、六日戴仁親王ニ、九日並ビニ十日博恭王

ニ、十三日成久王ニ、十四日故菊麿王妃常子ニ、二十三日
 日毅仁親王及ヒ恒久王ニ、二十五日恒久王妃昌子内親王
 及ヒ恒徳王ニ、二十七日成久王ニ、二十八日恒久王ニ御
 對面ノコトアリ。猶ホ謁ヲ賜ヘル者ニハ、陸軍大將伯爵
 乃木希典・公爵桂太郎・參謀總長元帥伯爵奧保鞏・宮内
 大臣伯爵渡邊千秋・陸軍大臣男爵石本新六・侯爵松方正
 義・内閣總理大臣侯爵西園寺公望・侯爵井上馨・文部大
 臣長谷場純孝・海軍大將男爵上村彦之丞・海軍中將男爵
 三須宗太郎・同島村速雄・朝鮮總督伯爵寺内正毅・海軍
 軍令部長海軍大將男爵伊集院五郎等アリ。
侍從日記・庶務課日記

圖書寮

天皇ノ福間
行幸ヲ奉送

三日、天長節ニヨリ觀兵式並ビニ祝宴ニ御參列ノコト
 例年ノ如シ。侍從日記・庶務課日記・行啓錄
 七日、天皇、特別大演習御統裁ノ爲メ福間縣ニ行幸ア
 ラセラルルヲ以テ、午前九時四十分御出門、新橋停車場
 ニ奉送、十時五十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓錄
 八日、午後一時御出門、上野公園日本美術協會列品館
 ニ開ケル日本美術協會第四十七回美術展覽會ニ行啓、歸
 途、第五回文部省美術展覽會ニ臨ミ、四時二十五分還啓
 アラセラル。猶ホ十三日ニハ上野公園竹ノ臺陳列館ニ於
 テ開ケル日本漆工會第十次漆工競技會ニ亦行啓ノコトア

智利公使御
引見

リ。侍從日記・庶務
課日記・行啓録
十日、妃ト俱ニ智利國新任特命全權公使あるふれつど、
いららさるる。さにかやるつヲ引見アラセラル。侍從日記・
庶務課日

博恭王暹羅
ニ赴クヲ賀
セラル

十一日、博恭王、暹羅國皇帝戴冠式ニ參列ノ爲メ、將
ニ同國ニ赴カントスルヲ以テ、御物料金參百圓及ビ三種
交魚壹折ヲ賜ヒ、祝賀アラセラル。翌十二日出發ニ當リ
東宮侍從田内三吉ヲ新橋停車場ニ遣シ、送ラシメ給フ。
侍從日記・庶務
課日記・贈賜録
十二日、天皇、福岡縣下ニ行幸中ナルヲ以テ、午前十

圖書寮

觀菊會ニ御
參列

兵庫縣下・
大阪府下ニ
行啓

一時妃ト俱ニ裕仁親王・雍仁親王・宣仁親王ヲ隨へ御出
門參内、皇后ノ御機嫌ヲ候シ、尋イデ御晝餐ニ陪シ給ヒ、
午後三時二十五分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日
記・行啓録・皇后宮

十五日、午後二時妃ト俱ニ御出門、赤坂離宮ニ行啓、
觀菊會ニ御參列アリ、皇后ニ從ヒテ陪餐、三時五十分還
啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行
啓録・皇后宮職日記・官報

十六日、第四第十六師團臨時對抗演習御視察ノ爲、兵
庫縣下及ビ大阪府下ニ行啓アラセラル。御出發ニ先立チ
一昨十四日參内、皇后ニ請暇ヲ啓シ給フ。是ノ日午前五

著 京都市ニ御

孝明天皇山陵等御拜

時三十五分御出門、新橋停車場ニテ汽車ニ御搭乘アリ、午後六時五十八分二條停車場ニ御著、七時十五分二條離宮ニ入ラセラル。此ノ行、供奉ヲ命セラレタル者ハ東宮大夫男爵波多野敏直・東宮侍從長公爵一條實輝・東宮武官長男爵村木雅美・東宮侍從田内三吉・同原恒太郎・同本多正復・東宮武官山岡豊一・同本城幹太郎・侍醫片山芳林・東宮主學子爵錦小路在明等ナリ。

是ヨリ京都市ニ御二泊アリ。即チ十七日ハ午前九時御出門、泉山ニ行啓、孝明天皇後月輪東山陵・英照皇太后後月輪東北陵並ビニ近陵ヲ御拜アリ、泉涌寺ニ於テ御休

修學院離宮ニ臨ミ給フ

天皇ノ還幸ヲ奉迎送

憩、諸陵寮出張所長諸陵寮主事川中忠純・泉涌寺長老泉智等ニ謁ヲ賜ヒ、十一時十分還啓アラセラル。公爵九條道實・前東宮侍從子爵大宮以季ニ謁ヲ賜フ。午後一時三十分御出門、修學院離宮ニ臨マセラレ、御苑内御巡覽、元帥公爵山縣有朋ニ謁ヲ賜ヒ、四時五十分還啓アラセラル。十八日ハ午前九時御出門、京都帝國大學ニ行啓、尊攘堂ニ於テ御休憩ノ後、總長男爵菊池大麓以下職員ニ謁ヲ賜ヒ、圖書館・觀測所・地下室・電氣工學教室等ヲ御覽アリ、十一時二十分還啓アラセラル。

尋イデ天皇、福岡縣下ヨリ還幸ノ途次、京都市ヲ通過

アラセラルルヲ以テ、午後零時十五分再ビ御出門、京都停車場ニ行啓、天皇ニ車内ニ謁シ、奉迎送アリ。一時十五分同停車場ヨリ汽車ニ御搭乗、二時四十五分伊丹停車場ニ著カセラレ、三時十分兵庫縣川邊郡伊丹町御旅館小西新左衛門ノ別邸ニ入り給フ。陸軍大將伯爵乃木希典・同子爵川村景明・第四師團長陸軍中將男爵淺田信興・兵庫縣知事服部一三等ニ謁ヲ賜ヒ、教育總監部本部長陸軍少將本郷房太郎ヨリ演習ノ經過ニ就キテ説明ヲ聽カセラル。

是ヨリ御二泊アリ。十九日ハ午前八時三十分御出門、

猪名川方面
演習御覽

乘馬ニテ伊丹町東北方ナル川邊郡猪名川軍行橋附近ニ臨ミ、第四第十六師團臨時對抗演習ヲ御覽、十一時三十分一旦御旅館ニ還啓アラセラル。午後一時再ビ御出門、乘馬ニテ西國街道上毘茶屋附近武庫川堤防上ニ於ケル演習御覽、三時四十分還啓アラセラレ、野外ニ於テ元帥公爵大山巖・陸軍大將子爵川村景明・第四師團長陸軍中將一戸兵衛等ニ謁ヲ賜フ。二十日ハ午前四時三十分人力車ニテ御出門、武庫郡門戸村西方高地ニ於テ演習ヲ御觀察、東軍退却・西軍進撃ノ動作ヲ覽給フ。歸途、兵庫縣立伊丹中學校ニ臨マセラレ、十時二十八分還啓アリ。午後一

門戸村方面
演習御覽

著 茨木町ニ御

舞子ニ威仁
親王御訪問

時三十分伊丹町御旅館御出門、伊丹停車場ニテ汽車ニ御
 搭乘、二時二十八分茨木停車場ニ著カセラレ、直ニ大阪
 府三島郡茨木町御旅館梅林寺ニ入り給フ。三時御出門、
 大阪府立茨木中學校ニ行啓、生徒ノ授業及ビ擊劍・柔道・
 徒手體操等御巡覽、同四十分御旅館ニ還啓アラセラル。○
 二十一日ハ午前五時人力車ニテ御出門、三島郡高田村附
 近ニ於テ演習ヲ御覽アリ、尋イテ演習講評ヲ聽カセラル。○
 十一時四十分茨木停車場ニテ汽車ニ御搭乘、午後一時二
 十分舞子停車場ニ御著、有栖川宮別邸ニ病ヲ養ヘル威仁
 親王ヲ訪ハセ給フ。二時四十分再ビ舞子停車場御發車、

圖書寮

二條離宮ニ
御一泊

東京ニ還啓

東宮武官更迭

五時六分京都停車場ニ御著、同四十分二條離宮ニ入ラセ
 ラル。二十二日午前五時十五分二條離宮御出門、二條停
 車場ニテ汽車ニ御搭乘アリ、午後六時三十分新橋停車場
 ニ御著、同五十五分假東京御所ニ還啓アラセラル。○
侍從
日記
庶務課日記・行啓錄・官報・大正天皇行幸啓ニ關スル大
 阪府資料(大阪府廳)・行啓ニ關スル書類(兵庫縣廳)
 二十二日、東宮武官陸軍歩兵中佐本城幹太郎ノ本職ヲ
 免ジ、歩兵第三十五聯隊附ニ補シ、野砲兵第十一聯隊大
 隊長陸軍歩兵少佐西養一ヲ以テ之ニ代フ。幹太郎側近ニ
 奉仕スルコト四ヶ年ニ及ビ、勤勞尠カラザリシニヨリ、
 二十五日御紋附銀卷甚入壹個・金參百五拾圓ヲ賜ヒ、之

東宮武官ノ更迭

ヲ輜ハセラル。官報・庶務課日記・贈賜録

二十三日、恒久王、陸軍騎兵少佐ニ陞任セシヲ以テ、三種交魚壹折ヲ賜ヒ、祝賀アラセラル。侍従日記・庶務課日記・贈賜録

二十四日、東宮主事正四位勳六等子爵鋪小路在明卒ス。

是ノ日病篤キ趣ヲ懸カセラルルヤ、御菓子壹折ヲ賜ヒ、存問アラセラレシガ、其ノ薨ズルニ及ビ、翌二十五日祭

桑料金千圓ヲ賜ヒ、外ニ金千圓ヲ内賜アラセラル。在明

去ル明治三十二年東宮主事心得拜命以來恪勤殊ニ顯著ナ

リシヲ以テナリ。贈賜録・庶務課日記

二十六日、午前十一時御出門、侯爵松方正義ノ邸ニ行

松方正義ノ邸ニ行啓

圖書寮

陸軍砲工學校卒業式ニ御臨場

啓アラセラレ、正義・同妻滿佐子以下家族並ビニ元帥公爵大山巖・海軍大將伯爵山本權兵衛・男爵牧野伸顯等ニ謁ヲ賜ヒ、尋イテ諸員ニ午餐ノ陪食ヲ賜フ。了リテ直水ノ講談ヲ聽カセラレ、庭園ヲ御逍遙アリ。又劍舞及ビ席書ヲ御覽ノ後、午後四時二十五分還啓アラセラル。是ノ日正義夫妻ニ七寶燒花瓶壹對・紅白縮緬貳疋・三種交魚壹折ヲ、又家族ニモ夫々物ヲ賜フ。侍従日記・庶務課日記・行啓録

二十七日、陸軍砲工學校ニ於テ學生卒業證書授與式ヲ舉行スルヲ以テ、親旨ニヨリ御名代トシテ午前九時三十分御出門、同校ニ行啓アリ、朝鮮總督伯爵寺内正毅・陸

軍大將伯爵乃木希典。同子爵長谷川好道。參謀總長元帥伯爵奧保鞏。教育總監陸軍中將男爵淺田信興以下諸員ニ謁ヲ賜ヘル後、講演場ニテ優等學生二名ノ講演ヲ聽カセラル。卒業式場ニ臨ミ、高等科及ヒ普通科優等學生六名ニ軍刀各壹振。圖引器械各壹個ヲ賜ヒ、侍從武官與村拓治ヲシテ傳達セシメラル。十一時五十五分禮啓アリ。翌二十八日參内復命ヲ奏セラル。猶ホ同校ヲ卒業セル放久王ニ三種交魚壹折ヲ賜ヒ、祝賀アラセラル。侍從日記・行啓錄・侍從職日録

是ノ日、威仁親王妃慰子病ヲ葉山別邸ニ養フヲ以テ、

圖書寮

小村壽太郎
ノ墓去ヲ悼
ミ給フ

東宮侍從本多正復ヲ遣シ、御菓子壹折ヲ賜ヒ、慰問セシメラル。贈賜錄・庶務課日記

二十八日、軍事參議官陸軍大將伯爵乃木希典。教育總監陸軍中將男爵淺田信興。騎兵監陸軍中將秋山好古。工兵監陸軍中將落合豐三郎。教育總監部本部長陸軍少將本郷房太郎等ヲ召シ、午餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・典式錄

二十九日、從二位勳一等侯爵小村壽太郎薨ズ。是ヨリ先、壽太郎葉山ノ別邸ニ於テ病革マルノ趣ヲ聽カセラルヤ、御菓子壹折ヲ賜ヒ、存問アラセラレシガ、其ノ薨ズルニ及ビ生前ノ勳功ヲ追思シ給ヒ、是ノ日東宮侍從原

内閣總理大臣以下ヲ午餐ニ召ス

恒太郎ヲ別邸ニ遣シ、祭料金貳百圓ヲ賜ヒ、弔セシメラル。十二月二日送葬ニ當リテハ東宮侍從田内三吉ヲ其ノ邸竝ビニ齋場ニ遣シ、玉串ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・贈賜錄

三十日、内閣總理大臣侯爵西園寺公望・外務大臣子爵内田康哉・内務大臣原敬・大藏大臣山本達雄・陸軍大臣男爵石本新六・海軍大臣男爵齋藤實・文部大臣長谷場純孝・農商務大臣男爵牧野伸顯・遞信大臣伯爵林董・司法大臣松田正久以下各省次官等ヲ召シ、晚餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・典式錄

十二月一日、新二軍事參議官ニ補セラレタル海軍大將

圖書寮

依仁親王等ヲ午餐ニ召ス

男爵片岡七郎等ニ謁ヲ賜フ。猶ホ是ノ月謁ヲ賜ヘル者ニハ、陸軍中將村田淳・海軍大臣男爵齋藤實・特命全權大使男爵栗野慎一郎・侍從長公爵德大寺實則・陸軍大臣男爵石本新六・宮内大臣伯爵渡邊千秋・朝鮮總督伯爵寺内正毅・海軍軍令部長海軍大將男爵伊集院五郎・特命全權大使男爵加藤高明・内閣總理大臣侯爵西園寺公望・軍事參議官海軍大將男爵上村彦之丞・元帥公爵山縣有朋・外務大臣子爵内田康哉・公爵桂太郎等アリ。侍從日記・庶務課日記

二日、英吉利國皇帝戴冠式ニ參列ノ爲メ同國ニ赴キ義ニ歸朝セル依仁親王・同妃周子以下ヲ午餐ニ召シ、隨員

東京帝國大學ニ行啓

ぶらいあん米國大使ヲ

海軍大將伯爵東郷平八郎・陸軍大將伯爵乃木希典・式部長官伯爵戸田氏共等ニ陪食ヲ賜フ。是ノ日又成久王ト晚餐ヲ會食アラセラル。侍從日記・庶務課日記・典式錄

四日、午後一時三十分御出門、東京帝國大學ニ行啓アリ、山上集會所ニ於テ御休憩ノ後、文部大臣長谷場純孝・總長男爵濱尾新・醫科大學長青山胤通・理科大學長櫻井錠二・工科大學長渡邊渡・文科大學長坪井九馬三ニ謁リ賜ヒ、圖書館並ビニ工科・理科各教室ヲ御巡覽、四時三十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓錄

五日、亞米利加合衆國新任特命全權大使ちやゝるす。

圖書寮

御引見

後桃園天皇御例祭御拜

へいち・ぶらいあんヲ引見アラセラル。侍從日記・庶務課日記・外事錄

報官

是ノ日、宮内大臣伯爵渡邊千秋・皇后宮大夫子爵香川敬三・式部長官伯爵戸田氏共・侍從武官長男爵中村覺外宮内省各部長官ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・典式錄

六日、後桃園天皇御例祭ニヨリ、午前九時十分御出門、皇護殿御拜、十時三十分還啓アラセラル。是ノ月猶ホ十日光格天皇御例祭並ニ十五日賢所御神樂御拜ノコトアリ。侍從日記・庶務課日記・典式錄

七日、朝鮮總督伯爵寺内正毅・朝鮮總督府度支部長官

戴仁親王等
ヲ芝離宮ニ
召ス

荒井賢太郎・同通信局長池田十三郎以下上京中ノ朝鮮總
督府諸員ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務
課日記・典式錄

八日、午前十一時三十分御出門、芝離宮ニ行啓、近衛
師團長陸軍中將戴仁親王並ビニ恒久王・成久王・鳩彦王。
稔彦王ト午餐御會食、近衛師團上長官以上ノ諸員ニ立食
ヲ賜フコト例年ノ如シ。侍從日記・庶務
課日記・行啓錄

九日、午前十時御出門參内ノ後、芝離宮ニ行啓、學習
院長伯爵乃木希典以下前奉仕者及ビ宮内省各部主事等ニ
立食ヲ賜ヒ、午後三時五十五分還啓アラセラル。侍從日
記・庶務課日記・官報

參謀總長等
ヲ晚餐ニ召
ス

埼玉嶋場ニ
行啓

十一日、參謀總長元帥伯爵奧保鞏以下參謀本部部員等
ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務
課日記・典式錄

十四日、元帥公爵大山巖・侯爵井上馨・公爵桂太郎以
下三十九名ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從日記・庶務
課日記・典式錄

十七日、午前六時三十分雍仁親王並ビニ宣仁親王ヲ隨
へ御出門、淺草停車場ニテ汽車ニ御搭乘、八時二十三分
越ヶ谷假停車場ニ著カセラレ、徒歩ニテ埼玉嶋場ニ行啓、
嶋獵ヲ催シ給フ。午後二時四十分同所ヲ出デ往路ヲ經テ、
四時四十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務
課日記・行啓錄

二十一日、聰子內親王病ニヨリ、紅白延年四拾個・嶋

3204 156

明治四十四年十二月

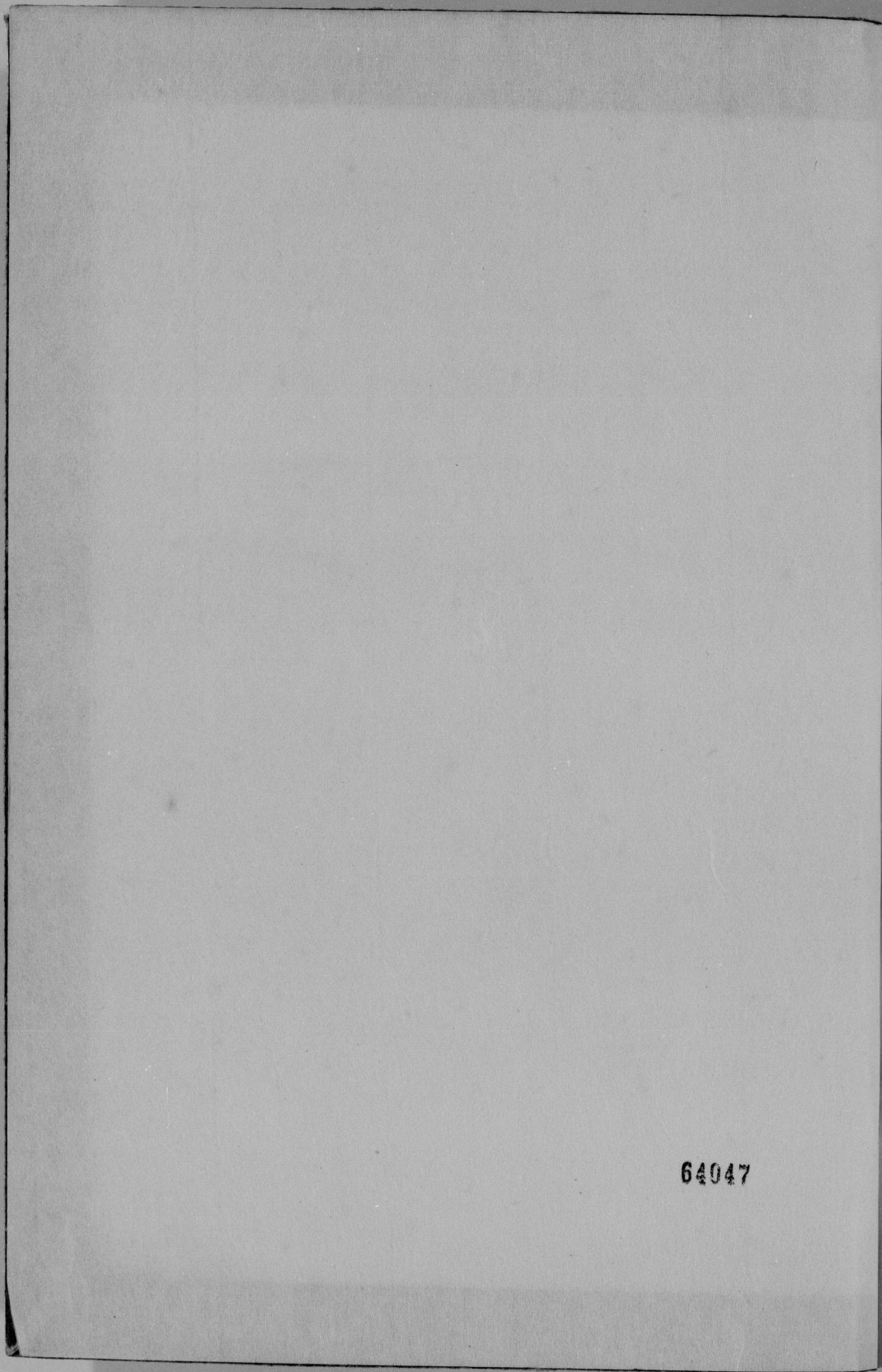
九〇

日 庶 終
記 務 江
誤 誤 參
拾
個
・
鷄
卵
壹
折
等
ヲ
賜
ヒ
、
存
間
ア
ラ
セ
ラ
ル
。
・
勘
・
勘

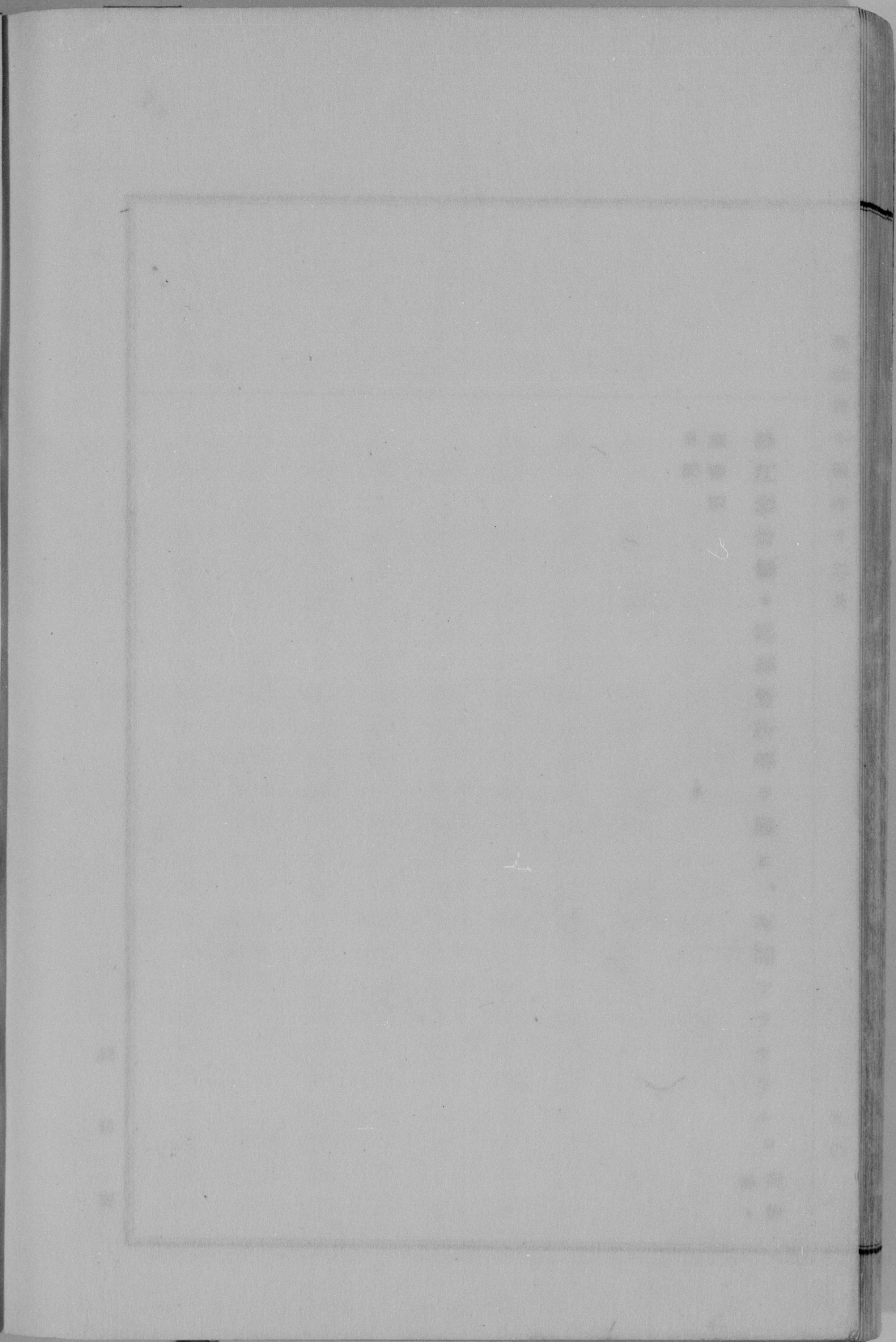
圖
書
寮

64047

3204 157



64047



3204 158

